

平成19年度 学校自己評価表(定時制課程) (計画段階)

福岡県立ひびき高等学校長



| 学校運営方針 | | 学校運営計画(4月) | | | 評価(月) | |
|---|---------|--|---|--|--|--|
| 昨年度の成果と課題 | | 年度重点目標 | 具体的目標 | | | |
| 本年度、単位制・定時制のひびき高等学校として創立して5年目を迎えるとともに、前身の戸畑中央高等学校・戸畑実科女学校の設立から80年の歳月を数えることとなる。この節目の年を契機とし、本校教育活動の更なる充実・発展をとおして、地域に愛される魅力ある学校創りを目指す。 | | 運営委員会(三部・十課制)の円滑化・効率化・組織化 部長会議(三部・年次主任)の定例化 生徒の単位修得率の向上 教育活動の活性化・特色化及び授業内容の充実 高大等連携事業、マスター・ティーチャー・プログラム等の活用 科目履修生制度の導入 「自己判断」「自己選択」「自己決定」等自己教育力の育成 遅しく生きる力の醸成 | 三部・年次部の部長会議を定例化(毎週一回)することで、三部(教務・生徒・キャリア)の連携と、各部所属十課の効率的・組織的な運営を目指す。 | 面接週間・生徒情報交換会等の活用により、生徒情報の収集と共有化を図る。 90分授業の充実のため、授業研究や職員研修、生徒による授業評価等を活用する。 上級学校や企業との連携を密にしながらガイダンス指導の充実に努める。 | 科目履修生制度の平成20年度からの導入を目指し、調査・研究を行う。 生徒会活動の充実、学校行事の活性化をとおして、達成感や帰属意識の高揚を図る。 教育環境の整備、ボランティア活動、キャリアガイダンス、マナーアップひびき等の充実に努める。 | |
| 評価項目 | 具体的目標 | 具体的方策 | | 評価(月) | 次年度の主な課題 | |
| 教務部 | 教務部 | 生徒の学力を向上させるとともに、単位修得率70%を達成する。効果的な生徒募集の方策を計画する。 | 生徒の学力格差に対応し、基礎的・発展的学力を充実させる学習方法を研究する研修会を実施する。 生徒の出席状況を管理し、生徒の出席率を向上させるようHR担任を指導していく。 中学校訪問・体験入学・出前授業等の関連性を高め、より効果的な生徒募集活動を行う。 | | | |
| | 教務課 | 生徒に関する情報の整理・分析を行い、学習意欲を高める指導に努め、生徒の学力向上を目指す。 | 欠席者の状況分析を年10回実施し、生徒の出席率を向上させる。 中途退学者について、情報収集・分析を行い、中途退学者を減少させる。 教務支援システムの運用マニュアルを整備し、円滑な業務の実現に努める。 | | | |
| | 情報システム課 | 校内ネットワークの管理及びIT環境の整備を図るとともに、校内デジタルデータの管理を行う。 | 教務支援システムの正常稼働に努め、有効利用のための職員研修会等を実施する。 静止画・動画等のデジタルデータを集約・保存し、他の分掌への情報提供を行う。 入試データ等の分析を年2回行う。 | | | |
| | 研修課 | 教職員の専門的資質を高め、魅力ある授業を創造するための各種研修を運営する。 | 授業研修制度を確立し、各自4年に1回の授業研修を実施して授業改善を図る。 授業評価を年間2回実施し、この結果を活用して充実した90分授業を創意工夫する。 他分掌と連携し、効果的な研修会を年間2回以上実施し、研究紀要を発刊する。 | | | |
| | 広報課 | 本校の教育システム・教育活動の特色を多様な手段で県下に広める。 | 本校の特色を効果的にアピールできる学校案内・ポスター等を10月までに作成する。 本校の特色ある教育活動を体験することができるとともに体験入学を年2回実施する。 中学校訪問等、出前授業等を積極的にを行い、中学校等の連携を図る。 | | | |
| 生徒部 | 生徒部 | すべての教育活動をとおし、心豊かにして遅しく生きる力を育て、自主性と自己責任力の伸長を図る。 | 生徒会活動を活性化させ、学校行事の充実に努め、魅力ある学校作りを推進する。 「マナーアップひびき」やボランティア活動に積極的に参加させ、地域に根ざした学校を目指す。 毎月生徒情報交換会を開き、生徒情報の共有化により教育相談体制の充実に努める。 | | | |
| | 生徒指導課 | 校内及び生徒の安全を確保するとともに、生徒が自身の良さを伸ばせる環境の創出を目指す。 | IDカードの着用率100%を目指すとともに、加工の禁止を徹底する。 部活動組織を再編し、部活動加入率25%を目標に掲げ、達成感や帰属意識の高揚を図る。 非行防止をテーマにした年2回の講演を企画し、反社会的行為の未然防止を図る。 | | | |
| | 修学課 | 生徒個別の情報収集・分析に努め、生徒個々の修学を援助・指導しつつ職員間の情報共有化を図る。 | 校外の各機関との連絡調整を行い、組織的かつ継続的な援助・指導に取り組む。 生徒の個別の実態に即した、生徒の個々の情報を収集し、生徒把握に活かす。 不登校防止や中退防止に向けた対応策の構築により退学者の2割削減を目標にする。 | | | |
| | 保健課 | 教育環境の美化及び整備充実に努め、職員・生徒の健康増進のための支援を行う。 | 諸検診の円滑な運営を心がけ、生徒の健康管理のため、受診率100%を目標にする。 保健便りを毎月発行し、生徒・保護者の健康管理・環境美化への意識を向上させる。 「性と心の健康相談」・カウンセリングを定期的実施し、生徒支援の一助とする。 | | | |
| ガイダンス部 | ガイダンス部 | キャリア教育の視点に立ち、個々の生徒に対するキャリアガイダンスを支援する。 | 受講ガイダンスを通じて生徒一人一人の進路意欲の涵養を図る。 近未来ガイダンスへの積極的参加を促し昨年比120%の参加率を目指す。 高大等連携事業を有効活用し、参加希望生徒へのガイダンス体制を構築する。 | | | |
| | 進路指導課 | 進路情報の充実に努め、生徒の多様な進路希望に応える進路指導体制を構築する。 | 各年次における進路指導体制を点検整理し本校としての進路指導体制を構築する。 卒業予定生対象の「面接セミナー」を実施するとともに、マナー教育の充実に努める。 生徒の進路希望に応じた指導を徹底し、生徒の進路希望の80%の実現を目指す。 | | | |
| | 企画・庶務課 | 80周年記念行事を含む各行事のスムーズな開催を計画する。 | P.T.A総会・公開授業・P.T.A研修会等への保護者の参加を呼びかける。 校舎移転・旧校舎解体前のスムーズな物品移動を計画する。 会議議事や各行事の反省の記録化を徹底する。 | | | |
| | 図書課 | 広報啓発活動を積極的に行うことと図書館ボランティア生徒の育成を通して読書習慣を身につけさせる。 | 生徒用小冊子の利用や書籍情報等の広報活動をより活発化し、貸出平均6.5冊を目指す。 図書館ボランティア生徒の活性化・組織化することで全体の読書喚起につなげる。 図書館環境整備や各教科の協力のもとにオリエンテーションを実施し読書指導を行う。 | | | |